



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 〇秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ 市民の期待に応え「すぐやる課」は今日も頑張っています

島田市には「すぐやる課」という全国でもめずらしい部署があります。住民の要望に対し、「すぐにできることはすぐにやる課」として皆さんにご好評をいただいている当課が、どんな業務をしているのかをご報告するとともに、皆さんに考えていただきたいことがあって、今月のテーマとしました。

市すぐやる課の存在は、広く浸透しており、年間2,900件を超える要望を承っています。令和元年度は、電話または直接窓口で個別にいただいた要望が2,671件、自治会からの要望が648件でした。個別要望に対する処理率は95%。国の河川・国道事務所や県島田土木事務所につなぐ案件などを除けば、ほぼ100%処理しています。作業員は、増加・多様化する皆さんからの要望に迅速に対応できるよう、2班9人体制で出動し、現場に応じ効率よく業務を行っています。

具体的な業務としては、道路の穴埋めなどの舗装修繕、側溝・カーブミラーなどの維持修繕、草刈り、水路の浚渫・改修、災害等の緊急時に対応した応急措置などです。



交差点の安全点検を行う関係者

いただくご要望の中には、「家の近くにマムシがいるので駆除してほしい」「屋根から降りられなくなった猫を助けてほしい」「自宅の庭の草刈りをしてほしい」「ご近所のピアノがうるさいから注意して」「公園で遊ぶ子どもの声がうるさい」「ゴミが落ちているので拾ってほしい」「お隣との境界でもめている、隣人を諫めてほしい」など、多岐にわたります。

しかしながら、すぐやる課は「なんでもやる課」ではありません。庭の草刈りなど、私有地の維持管理や個人的な要望には、基本的にお応えできません。道路・水路の簡易修繕、ゴミ詰まりなど、さまざまな公共施設の問題に対応していますのでご理解いただきたいと存じます。ハチの巣のある場所が、公共の場であれば市が駆除の手配をします。また、私有地にある時は、駆除業者をご紹介します（もちろん一刻を争うような緊急性があれば、猫

も鯉も助け、マムシの駆除も可能な限り行っています）。

先日いただいた市長への手紙には、「市政に限らず、物事には隙間というものが存在し、その部分は困っていても誰もが自分事として対応してくれない。しかし、私の住んでいる島田市には『すぐやる課』という隙間に対応する素晴らしい部署が存在する。実にありがたいことだ。もうやめようと思っていた市道の美化に、行政と共に進めていこう、という気持ちになった」（原文ママ）と記されていて、感謝の気持ちがこみ上げました。



道路を修繕する作業員

「ゴミを拾って」と電話する前に、気付いた人がそっとゴミを拾ってくれたなら、その優しさは地域に広がる気がします。本通りでも、黙々と歩道の草取りをする男性をよく見かけます。市も最大限、市民の皆さまに寄り添うサポートをしまります。みんなが「地域でできることは地域で」と考えていただき「互助の精神」が広がれば、誰もが住み慣れたまちで安心して住み続けることができます。コロナ禍だからこそ気づいた、人とのつながりの大切さを、次なる行動につなげていきたいものです。

ところで皆さんは、道路の穴ぼこなどを見つけた時、スマートフォンで写真2枚(近景・遠景)を市公式LINEに送信すると、すぐやる課に通報できる便利な仕組みをご存



じですか。24時間いつでも通報でき、電話や来庁する手間が省けます。昨年8月25日の開始から今年1月末までの約半年間で、124件の通報がありました。

私はLINEなんて使えない、とおっしゃる人には、「デジタル活用支援員」が基本的なスマホの操作やアプリの使い方を懇切丁寧に説明しますので、デジタルトランスフォーメーション推進課へご連絡ください。